

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。	
⚠️ <b>警告</b> 『死亡や重傷を負うおそれがある内容』です。	⚠️ <b>注意</b> 『傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容』です。
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)	
🚫 してはいけない内容です。	🛑 実行しなければならない内容です。

⚠️ <b>警告</b>	🚫 <b>禁止</b>	●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない 傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。 ●コンセントの定格を超える使い方をしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。
	🚫 <b>ぬれ手禁止</b>	●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電のおそれがあります。
	🛑 <b>必ず守る</b>	●電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。 ◎電源プラグを抜き、乾いた布で拭いて下さい。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災のおそれがあります。 ◎傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないで下さい。 ●電源プラグを抜く時は、アダプターを持って抜く 電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電のおそれがあります。 ●交流 100 ボルトで使用する 過電圧を加えると、火災・感電のおそれがあります。
	🚫 <b>禁止</b>	●布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしない 火災のおそれがあります。 ●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まない 火災、感電のおそれがあります。
	🚫 <b>分解禁止</b>	●器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電によるけがのおそれがあります。
	🔌 <b>電源プラグを抜く</b>	●異常を感じた時は速やかに電源プラグを抜く 異常状態が収まったことを確認し、弊社「灯菜お問い合わせ窓口」にご相談ください。

⚠️ <b>注意</b>	🛑 <b>必ず守る</b>	●器具には寿命があります 外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。日常の点検をおすすめします。 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電などに至る場合があります。 ●お手入れの際は、電源プラグを抜く 通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
	🚫 <b>水ぬれ禁止</b>	●浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しない 火災や、感電の原因となることがあります。 ◎本製品は防湿・防雨型ではありません。
	🚫 <b>禁止</b>	●湿度の高くなるものを器具の近くに置かない 短寿命や、火災の原因となることがあります。 ●調光器と組み合わせて使用しない 調光機能付きスイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ●器具にもたれたり物をぶつかけたりしない 器具破損の原因となります。 ●LED を直視しない 目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

- 推奨環境温度は 15℃～30℃です。種まき後の栽培条件、環境により育ち方が異なることがあります。
- 付属以外の種、液体肥料をご使用の場合のトラブルは保証致しかねますのでご了承下さい。

お手入れ・保管について

- スイッチを OFF にして電源プラグを抜き、栽培ケースを栽培パネルごと本体から、養液をこぼさないように取り外して下さい。
- 栽培ケースに残った養液は、一般排水へ流して下さい。ご家庭の花や、木にまいてもかまいません。
- 栽培ケース、栽培パネル、パネルふたを水洗いし、汚れがひどい場合は中性洗剤などで洗って下さい。(中性洗剤は、必ず水で洗い流して下さい。)水洗い後、自然乾燥させるか、乾いた布で拭き取って下さい。ぬれたまま本体に保管すると、サビや腐食の原因となります。本体の金属部分や木製部分は、柔らかい布で乾拭きして下さい。(水拭きはしないで下さい。)

故障かな?と思ったら下表に従って点検して下さい

現象	考えられる原因	処置
LED が点灯しない	①電源プラグ・ジャックが外れている ②スイッチが OFF になっている	①電源プラグ・ジャックを差し込み部に確実に差し込み ②スイッチを ON にする
使用中に LED が消える	電源の瞬間的な停電または電圧低下	一旦スイッチを 3 秒以上 OFF にしてから点灯させる

- 上記の点検でなお異常のある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、弊社「灯菜お問い合わせ窓口」にご相談ください。

アフターサービスについて 使いかた・お手入れ・修理などは、弊社「灯菜お問い合わせ窓口」にご相談ください。

技術に関してのお問い合わせ

LED が点灯しないなど異常がある場合は右記へお願いします。  
オリンピア照明株式会社「灯菜お問い合わせ窓口」

TEL 0256-92-7070 (平日 10:00～17:00 土日祝日除く)  
FAX 0256-92-3312

お問い合わせ

付属品・消耗品などオプションのご購入は右記へお願いします。  
オリンピア照明株式会社 [オリジナルブランド 灯菜 Akarina Motom]

URL <http://www.motom-jp.com>  
E-mail [sale@olympia-jp.co.jp](mailto:sale@olympia-jp.co.jp)  
TEL 03-5940-6773  
(平日 10:00～17:00 土日祝日除く)  
FAX 03-5976-4955



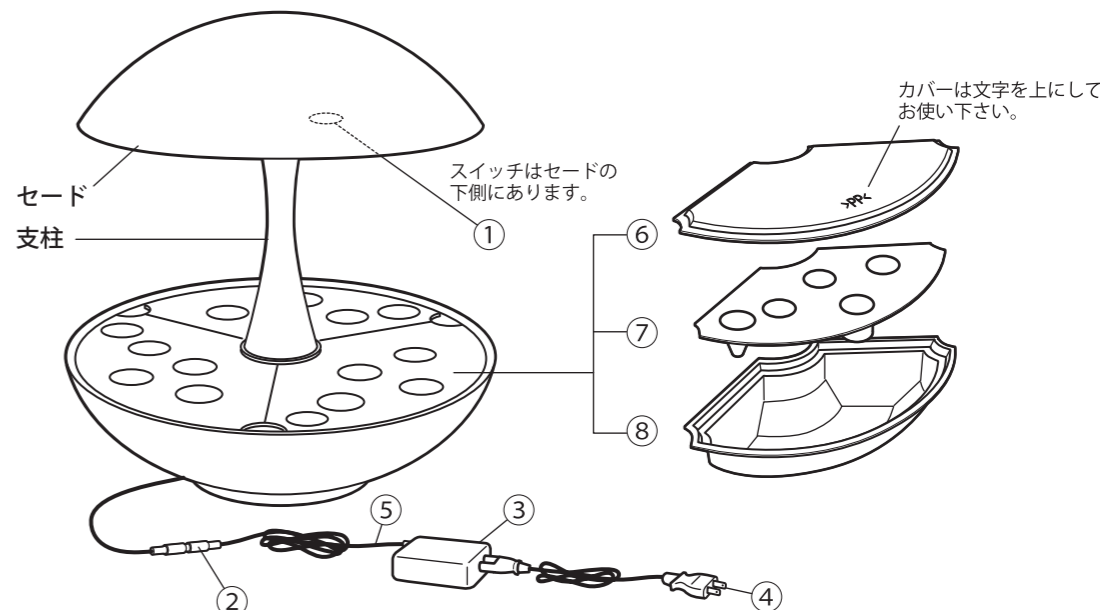
灯菜 Akarina



灯菜(LED 照明 + 水耕栽培器)取扱説明書 [OMA01]

このたびは灯菜をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使い下さい。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用下さい。

OMA01



各部の名称

- ①スイッチ
- ②ジャック
- ③ACアダプター
- ④電源プラグ
- ⑤電源コード
- ⑥カバー
- ⑦栽培パネル
- ⑧栽培ケース

本体寸法	W320×H350mm
電源入力	AC100V 50/60HZ
電源出力	DC12V 3.8A
消費電力	22W

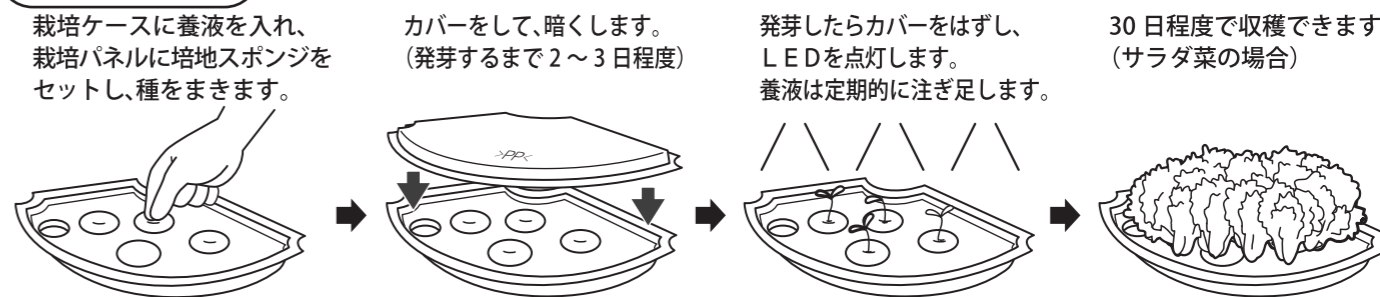
注意

- 必ず付属のACアダプターをご使用ください。
- 付属品以外のACアダプターを使用すると故障の原因やアダプターが発熱するおそれがあります。

まず、付属品を確認しましょう。

- 栽培ケース ×3
  - 栽培パネル ×3
  - カバー ×3
  - パネルふた ×14
  - 培地スポンジ 2 回分
  - 取扱説明書(本紙)
  - お試用種 ×1 袋
  - お試用液体肥料 ×1
- ※種と液体肥料はおお客様の利便性を考慮し、一回分をお試ししてお付けしております。  
※また、弊社ではオプション品として各種種子をご用意しています。  
詳しくは <http://www.motom-ec.com> にて「種子セット」をご覧ください。

栽培の流れ



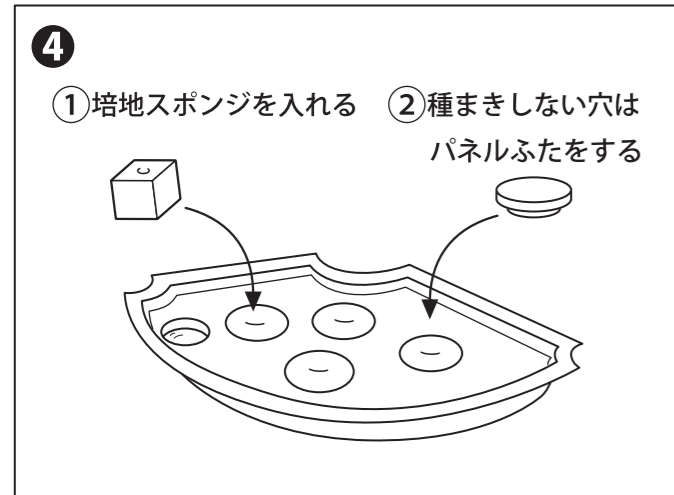
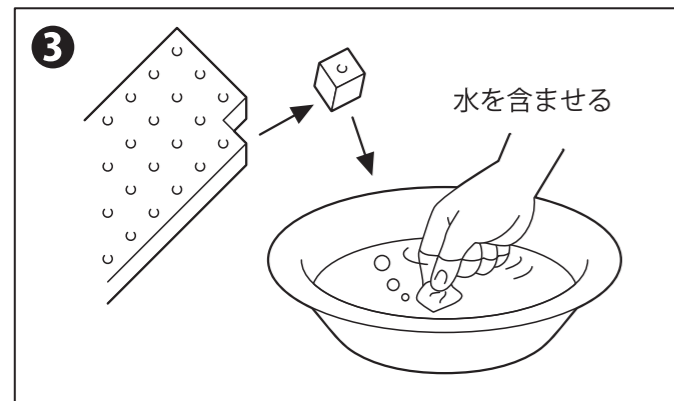
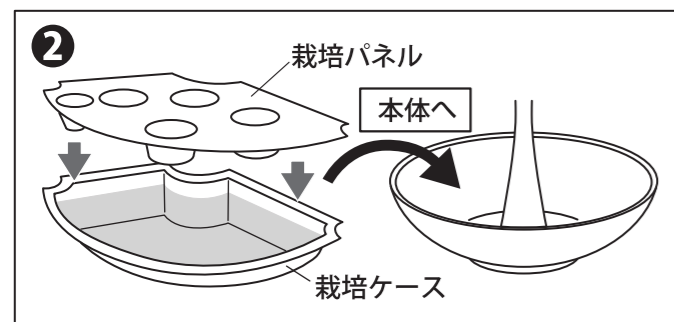
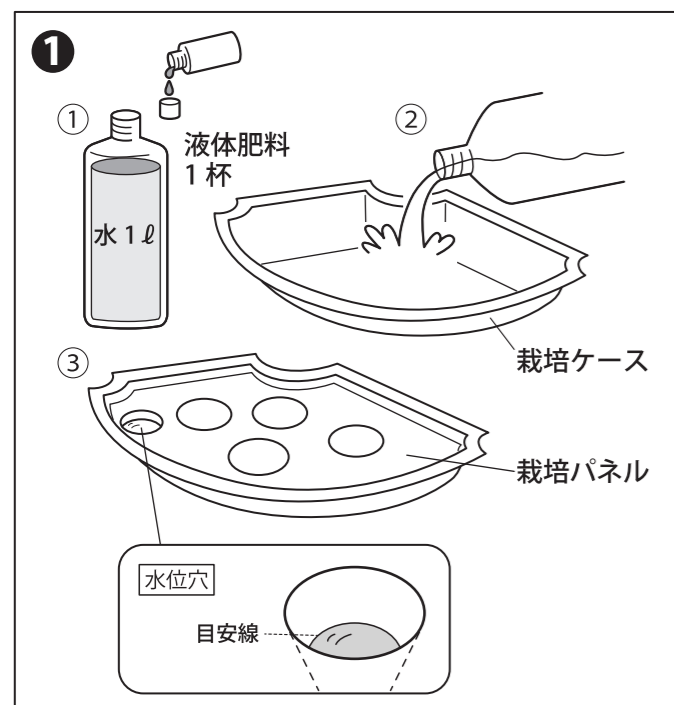
用意する物

- 本体だけでは栽培はできません。付属品をご使用下さい。
- 洗面器などの広口のうつわ、水を注げる水差しなどをご用意下さい。
- 1 リットル容器、ペットボトルなどをご用意下さい。

ご注意

- 40℃以上の所で保管すると液体肥料が漏れ出る可能性があるため、40℃以下の所で立てて保管ください。
- 水は水道水を利用してください。●ミネラルウォーターや蒸留水・清涼飲料水などは使用しないでください。

## 手順



### 1. 養液を作り、栽培ケースに注ぎます。

- ① 1ℓの水道水に付属の液体肥料をキャップ1杯(5ml)の割合で入れ薄めてください。
- ② 作った養液を栽培ケースに注ぎます。
- ③ 栽培パネルをかぶせ、養液を水位穴の目安線に合わせて注ぎます。  
※残った養液は、日の当たらない暗くて涼しい場所に保管して下さい。  
※栽培中に水位穴の目安線から養液が下回ったら、目安線まで養液を補充して下さい。

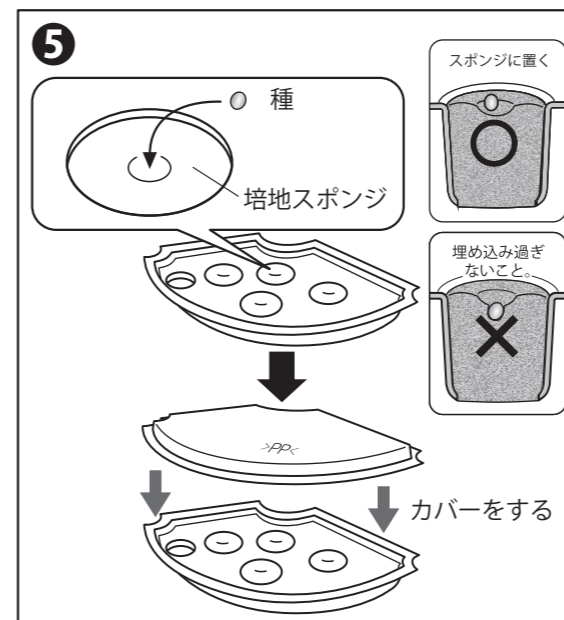
### 2. 養液を入れた栽培ケースを本体にセットします。

### 3. 培地スポンジの準備

- ① 種をまく数の培地スポンジを準備します。  
培地スポンジは、切れ目に沿って切り離して下さい。
- ② 洗面器などの広口のうつわに水を入れます。  
培地スポンジを水の中で4～5回握って空気を抜き、水を十分に含ませます。

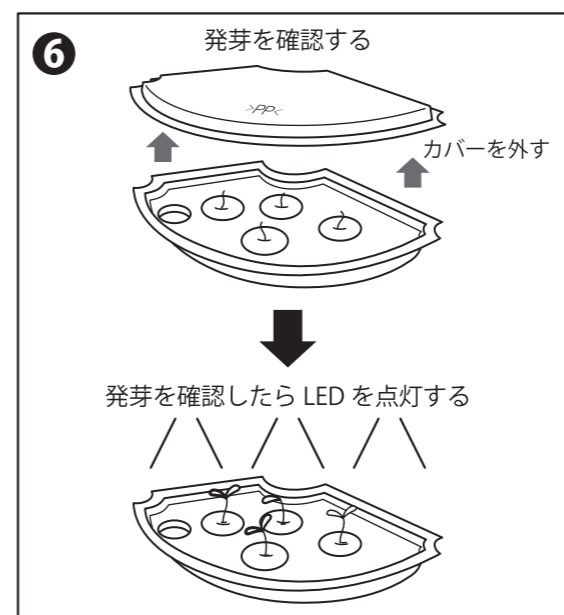
### 4. 培地スポンジへの植え付け

- ① 栽培パネルの穴に、水を含ませた培地スポンジを、くぼみがある面を上に入れて入れます。  
※栽培する植物により、種まきする間隔を決めて下さい。  
※栽培パネル表面と培地スポンジが同じ高さになるように入れて下さい。  
※培地スポンジの押し込みが不足すると、スポンジが液体肥料を吸い上げないため、種が発芽しない事があります。
- ② 種まきしない穴は、付属のパネルふたをして下さい。  
水位穴は栽培中の液体肥料の量を確認する穴ですので培地スポンジを入れないで下さい。



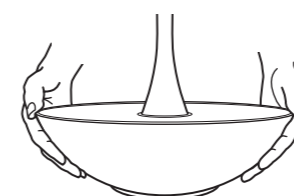
#### ◆ 種まき時のご注意

- ※ひとつの培地スポンジに、1個の種をまいてください。  
複数まくと成長しない場合があります。
- ※スポンジに充分水を含ませないと発芽しないことがあります。  
1回の栽培で1種類の種をまいてください。  
違った種類の種を混ぜてまくと、発芽しない事があります。
- ※パネルふたをしないと、緑色の藻が発生しやすくなります。
- ※発芽するためには植物により適切な発芽温度が異なります。  
ほとんどは20℃前後で発芽しますが、市販の種を栽培する場合は種の袋に記載してある発芽温度を参考にしてください。
- ※養液や水をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。  
サビや腐食の原因になります。



#### ● 取扱いのご注意

- ※栽培ケースに液体肥料を入れた状態は、製品が非常に重くなりますので、移動の際は本体ベースを両手で静かに持ち上げて移動して下さい。  
支柱やセードをつかんでの移動は避けてください。  
破損の原因となります。



## 5. 種まき

- ① 種を培地スポンジのくぼみの中央に置いてください。  
※種はスポンジの中に押し込まないでください。  
押し込むと発芽しません。
- ② 発芽するまで、カバーをして暗くして湿度を保ってください。

## 6. 種の状態を確認する

- ① 種まき後、毎日発芽の確認を行ってください。  
種が割れて、黄緑色の芽が少しでも見えたらカバーをはずしてください。  
※発芽するまでの日数は、栽培品種や温度条件で異なります。  
※約20℃の室温での発芽日数：  
ルッコラ1日程度・サニーレタス2日程度・バジル4日程度  
※種の入った袋に記載している有効期限は発芽率を維持出来る目安の日付です。
- ② 本体にアダプターのジャックを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ③ スイッチをONにしてLEDライトを点灯します。  
(目安として1日16～18時間程度点灯して下さい。  
日中が適しています。)  
別売の24時間タイマーを接続する事も可能です。

## 7. 育成と収穫

- ① 育成状態により、レタスなどの葉が混んできたら、間引きを行うか、大きくなった葉を摘んで下さい。
- ② 収穫
  - 株収穫：適当な大きさになったときに株ごと収穫します。
  - 葉積み収穫：大きくなった葉を順次収穫し、中央の新芽を残す方法です。  
ベビーリーフやルッコラなどのハーブが適しています。  
※新しい芽が出にくくなった時、全部収穫して種まきから始めて下さい。

### ■ 卓上ランプとしてもお使い頂けます。

本体のベースを取り外して、卓上ランプとしてもお使い頂けます。

